

Rotary



国際ロータリー第 2630 地区東濃グループ  
多治見西ロータリークラブ



人類に  
奉仕する  
ロータリー

# Weekly Report

2016~2017 年度 第 51 期会長テーマ

『友情を深めよう！  
仲間と感動するロータリー』

例会日 毎週 木曜日  
例会場 産業文化センター  
事務局 多治見市新町 2-23-4F  
T E L 0572-25-5100  
F A X 0572-25-5101  
Email n-rc@joy.ocn.ne.jp  
H P http://tajiminishi.jimdo.com  
会 長 中島 竹壽  
幹 事 加藤 真左子



9 月の花 (彼岸花)

第 2432 回例会 2016 年 9 月 8 日

9 月は識字率向上月間  
ロータリーの友月間

本日のプログラム

点 鐘

国歌斉唱 君が代  
ロータリーソング 奉仕の理想  
四つのテスト

会長挨拶

出席・スマイル報告

委員会報告

理事会報告・幹事報告

卓話者紹介 R 情報委員会担当 服部賢治君

卓 話

社会福祉法人みらい 柴田健吾様  
「社会福祉法人みらいの現状について」

点 鐘



## 卓話者のご紹介

柴田健吾様

名古屋大学卒業後、いぶき福祉会（岐阜市）で 4 年間施設職員として勤務する。平成 21 年に社会福祉法人みらいに入職。U ライフ施設長、第 2 けやき施設長等を経て、現在は第 1 事業部部長。

倉知美帆様

同朋大学卒業後、愛知県コロニー（春日井市）にて施設職員として勤務。現在は社会福祉法人みらいけやきにおいて、クッキー等を製造、販売する直販班の責任者として勤務している。

## 着信書類

- ・市制 76 周年記念表彰式における記念写真
- ・多治見少年少女合唱団とシニアコン

第 43 回定期演奏会招待状

9 月 23 日 (金) 可児市文化創造センター 18:30

- ・多治見市社会福祉協議会賛助会費協力をお願い

## 親睦家族旅行・10 月のお祝い例会について

10 月 13 日 (木)

行先：上高地（帝国ホテルでフレンチの昼食）

会費 会員 10,000 円 家族 7,000 円

※9 月 15 日までに欠の連絡をお願いします



## 会長挨拶 中島竹壽

日頃からロータリー活動にご協力頂きましてありがとうございます。経験の浅い会長です。何かお気づきの点があればお聞かせ頂ければ幸いです。

### 「下向き人生」

最近電車に乗って驚くことは、ほとんどの人が下を向いているのです。スマホを見ている光景は私にはとても不思議に見えます。10年前には、まだそのような人はあまりいなかったと思いますが、今、若い人はゲームに夢中で中毒のようにも見えます。テレビでもスマホのゲームのコマーシャルが頻繁に出てきます。スマホゲームの制作で上場した会社もあるようです。色々な学者がスマホを続けた場合の問題点を指摘しています。・うつ病が多くなった・頻繁に使っていると記憶力が落ちる・老眼になりやすい・スマホからの電磁波や青い光が自立神経を狂わす。・常にスマホを触っていないとイライラするスマホ依存症になってしまう。とても便利な時代になりましたが、困ったことも増えてしまうことになりました。私の初孫の横でスマホをカチャカチャいじっている娘を叱りました。

「この子が下向きな人生を送ることになるぞ！」

### 9月例会行事予定

1日	振替休会
8日	卓話 R情報委員会担当 社会福祉法人みらい 柴田健吾様 「社会福祉法人みらいの現状について」
15日	卓話 あおば会計事務所 林千代子様 「事業承継について」
22日	法定休日(秋分の日)
29日	お祝い例会

8日(木) I.G.M. (Bグループ)

場所: 木曾路 時間: 午後6時

### 8月30日の記録 劔田廣喜ガバナー公式訪問

#### ●出席報告

会員数 38名 免除者 3名 出席義務者 35名

出席者	欠席者	出席率
32名	5名	86.48%

●スマイ報告 投函者 31名 金額 48,000円

### ホストクラブ会長挨拶 出席報告 AG挨拶



多治見リバーサイド  
会長 荒木康夫君



森田宏治君



齋木寛治  
ガバナー補佐

### 会員表彰 各務成喜君お礼の言葉より



私は大正15年大正のロンチックな時代の終わりに生まれ、兵隊さんの足音とともに今日まで生きてきました。

こき使われたって言えば語弊がありますが、働き続けましたので90歳まで自分の足で生きてこれました。本日は皆さんありがとうございました。

### 劔田廣喜ガバナー卓話より



2016年度規定審議会の変更をひと言で云えば、クラブに柔軟性を持たせること即ち、今までは、決まったことを「頼り」にしていれば済んだところが、これからは、クラブの在り方全てがクラブにその自由と、責任が課せられたとも云えます。クラブが自主性をもって進むべき方向を決定しなければならないと云うことです。つまり発展するも沈滞するも、クラブ次第になったのです。また見方を変えれば、日本の伝統的なロータリー文化を順守しようと考えれば、今まで以上にその理念を明確に打ち出すことも可能であると考えられます。いずれにせよ、RIの示す方向に進んでも良し、伝統を守っても良し、多様性が認められ、クラブは二極分化が進むでしょう。これからは、クラブが選ばれる時代となります。それでは、クラブの方向性を示すものはなにか?云うまでもなくクラブ細則です。細則の中で、独自性即ち所在地における存在意義を示すことができないクラブいずれの方向性も示すことができないまま途中半端なクラブ、クラブ細則で管理運営できないクラブが衰退するであろうことは断言できます。最近ではロータリー活動が多面的になり、新しい会員には、ロータリーとは何であるか余程よく説明しないと、わかり難いと思われまので、ロータリーに経験の深いベテランロータリアンによる簡便な説明が伴わないと、ロータリーが何であるかわからないまま、或いは終わってしまうことにもなりかねないと危惧しています。

### 会長・幹事懇親会

